

れもなく本物の天然トパーズです。ブルートパーズは市場でロンドン、スカイ、スイス、アメリカン、オーシャンなどと多様な呼び名で呼ばれますが、その青色は高エネルギー電子線を照射するなどの加工により、無色の石から創り出された色であります。

当初、こうしたブルートパーズは天然に殆ど存在しないので、その魅力的な色によって、カラット当たり数10ドルと相当の値段がしたようです。



高エネルギー電子線を照射したブルートパーズ
背景にあるのは白色の原石

しかし、供給が急増したため価格が下がり、現在では1ドル以下、高くても10ドル程度の手軽な値段になっているようです。さて、放射線は危険なものというイメージがありますが、装飾品である宝石は、どうしても人の皮膚に触れることを避けられず、その危険性を心配するのは当然のことです。この点について宝石関連の業界は、消費者に対し放射線が利用されていることを積極的に公開しているようです。しかし、正しい情報を伝える事には苦労があるようで、そうした意味では我々医用放射線業務に携わる者にも通ずるものがありま

す。

ところでその安全性ですが、残留放射能についてその安全基準は確立されており、一般的には全く恐れるようなものではありません。わかりやすく数字を示してみよう。アメリカ原子力委員会によると、10カラットの原子炉処理されたトパーズの放射線量は年間1ミリレム(ミリレム：生体の放射線吸収線量の単位)以下です。一方、私たちは水や食べ物、地球の表面や宇宙から、年間約200ミリレムの放射線を浴びています。私達はそうした環境で生活をしていて逃げる事も隠れる事もできません。そう考えればトパーズが出す放射線量がいかに微々たるものであるかが分かります。

最後に、ネガティブな面ばかりが強調される放射線ですが、その利用が私たちの生活に深く関わっている事を知っていただけたかと思えます。また、宝石をご購入の際のまめ知識になればと思います。



放射線処理によるダイヤモンド 様々な色が作り出される

インフルエンザ感染予防方法を教えます

例年、寒くなるにつれ、インフルエンザが流行しはじめます。口や鼻からウイルスを吸い込んだり、ウイルスが付いた手で目や口に触れて目や口の粘膜にウイルスが付着したりすることにより、感染します。インフルエンザ感染予防には、かからない工夫と、うつさない配慮が必要です。

- ①人ごみは避ける
- ②こまめに手洗い・うがいをする。
- ③咳エチケットに心がける。
(咳が出る方はマスクの着用を。咳やくしゃみが出るときにはティッシュなどで口や鼻をおさえる)
- ④日頃から栄養・休養をしっかりと、体調を整えておく。
- ⑤流行前(なるべく12月末まで)に予防接種をする。



インフルエンザにかかったかなと思ったら

38℃以上の熱、咳、のどの痛み、関節痛、筋肉痛などの症状がみられます。医療機関を受診される場合は、他の方への感染拡大を防ぐため、あらかじめ医療機関に電話のうえ、受診方法について指示を受けてください。熱が下がっても感染力は残っていますので、熱が下がっても2日間は外出を控えましょう。

予防接種費用の助成について

岩美町では、中学生以下のお子さん、非課税世帯、65歳以上の方に予防接種費用の助成を行っています。詳しくは健康対策課までお問い合わせください。

日本脳炎の予防接種をしましょう

平成17年より積極的勧奨が差し控えられていました日本脳炎の予防接種について、9歳～13歳未満の方にも接種ができるようになりました。該当と思われる方は、母子手帳をご持参の上、健康対策課にお越しください。



【問い合わせ先】健康対策課 電話73-1322

お子さんの現在の年齢	接種時期・回数
3歳～ 7歳6ヶ月未満	I 期定期接種の間隔で3回接種。(初回2回、1年後に1回追加) ※途中で7歳6ヶ月を過ぎた場合は、9歳になってから残りを接種。
7歳6ヶ月～ 9歳未満	9歳になるのを待って、I 期定期接種の不足分を接種。 (現在は公費接種をすることはできません。)
9歳～ 13歳未満	I 期定期接種の不足分を接種。 I 期分3回接種されている方は、II 期分を1回接種。
13歳以上	現在は、公費で接種をすることはできません。 国の専門家により検討中です。情報が入り次第お知らせします。